季刊 えこびと

第26号
2017年10月

愛フェス2017豊田ブロック集合写真(P4に続く)

Ｐ＆Ｐ特選句

７月　肩揉みくるる嫁の香水仄かなり（智）
８月　車椅子の人も輪に入る盆踊（まるこ）
９月　落鮎や息子住む地の最上川（實郎）

※Ｐ＆Ｐは俳句や川柳づくりを楽しむ eco-T のワーキンググループです。

特 集 **大盛況！リユースフェスタ / キッズタウン 2017**

フォトレポート　愛フェス 2017 / トヨタ EX 会
eco-T 目玉イベント情報
みんな見てる？とよたのエコなくらし hibico
人物紹介リレー　岡田さえ子さん
エコ人からのお知らせ

この季刊誌は持続可能で豊かな地域社会（エコライフとよた）の実現を目指す
NPO 法人とよたエコ人プロジェクトが発行しています。

特集①　　大盛況！リユースフェスタ

10 月 1 日（日）、eco-T 館内にてリユースフェスタを開催しました。これまで６月のエコットフェスタの中で行っていましたが、リサイクル月間の初日に変更して開催しました。朝からいい天気に恵まれ、1,191 名もの来館者になりました。

２階の「子ども服おさがり市」「もったいない陶器市」はオープン前から大混雑！30 分前から徐々に列ができはじめ、オープン前にはおよそ 200 名の人が並んでいました。「くるっと文庫」も大人気！小さな子ども向けの絵本から大人向けの小説まで多種多様の本をたくさん持ち帰ってもらえました。

また、初めての試みとして「出張リユース工房抽選会」を開催しました。１回あたり５品（値札つき）を並べ、お客様が欲しいと思ったものがあれば、その品の前にある抽選ボックスの中に名札を入れるというシステム。抽選時間になると、リユース工房のスタッフによる抽選会を開催。当選者が決まると、拍手が起こっていました。この日、抽選会は３回行いましたが全て完売。どれも 100 円～300 円の値段ということで、たくさんの人が参加しました。

１階では、社会福祉協議会による「大人服の回収」や、ごみ減量推進課による「フードドライブへの取組み」として食品の回収を行いました。さらに、社会福祉法人オンリーワンによるお菓子やパンの販売も行いました。お昼前に売り切れてしまった品をお店に戻って追加して販売するほど大好評でした。

食料品は後日、NPO 法人セカンドハーベスト名古屋に寄付しました。また、子ども服や陶器など持ち帰り品１品につき 10 円以上の寄付を募って集まった寄付金は、何と 76,934 円。こちらも同じ団体に寄付をします。今回、多くの人が不要品を持って来て、必要だと思うものを持って帰ってくれました。今後もこのイベントを開催する意義や普及啓発効果は十分にあると実感しました。（長内）

特集②　　キッズタウン 2017

今年も学校の夏休み期間に合わせた８月１日（火）～８月３日（木）の３日間に、「エコットキッズタウン 2017」を開催しました。今回で９回目の開催となりました。今年は「eco-T でしか体験できない」キッズタウンにこだわり、キッズタウンに参加する子どもや送り迎えで来館する保護者にもエコについて考え、気づき、日頃の行動につながるような企画を子ども実行委員と共に企画してきました。

キッズタウンは、子どもが社会のしくみを体験し、助け合い、思いやりの大切さを学ぶ場として開催してきました。しかし、近年交流館などでキッズタウンが開催されるようになり、eco-T の独自性が求められてきました。そこで今年は、社会のしくみを学びながら、地球温暖化のことやごみのことについて考え、学べる企画を春先より検討してきました。

昨年までは、商品を作って店を出し「お金を儲ける」ことに多くの子どもたちが取り組んでおり、本来の「社会のしくみを学んだり、助け合ったりすること」がおろそかになっていました。今年は、販売する商品の制約の設定や、店舗規模の縮小をするなど工夫を行い、様々な仕事や体験が出来るようになりました。環境局では、３日間かけて未来のエコな豊田市を絵にしました。３階では、今年初の試みとしてエコシアターを実施しました。温暖化のことを勉強できる DVD を上映し、好評でした。カルチャーセンターでは、廃材となるもので万華鏡やさき織づくりなどを体験でき、楽しくエコのことが学べるようにしました。

今年の来場者は延べ 689 人でした。たくさんの人に来場してもらえて、とても嬉しいです。本当にありがとうございました。（本田）

フォトレポート　　準グランプリ受賞！愛フェス 2017

9月 16 日（土）に愛・地球博記念公園地球市民交流センターにて、愛フェス 2017 が開催されました。愛フェスは NPO の活動を紹介し、応援したい人からの寄付を NPO へ届け、活動を支援するイベントです。当法人は、今回初出展でした。ステージ PR では、活動についてマントを使って PR をしました。とよたエコ人プロジェクト含め４団体が PR した豊田ブロックで準グランプリを受賞することができました。

当法人のブースでは、２つのコーナーを設置。１つは、ごみ減量推進課から借りた「ごみつりゲーム」。子どもに大人気で、常に４・５人は遊んでいました。

もう一つは、「いらいら棒でごみ分別クイズ」ゲーム。ごみのカードを引いてそれが何ごみになるのか３択で答え、その答えが書いてあるゴールを目指して、いらいら棒を動かします。子どもたちは針金に触れないよう、慎重にいらいら棒を動かし、正解するととても喜んでいました。

当ブースにはおよそ400名（全体は8,705名）が来てくれました。豊田市内外にも活動の PR ができ、１名が正会員として入会してくれました。また、寄付金(2,767 円)と準グランプリの賞金 1,000 円もいただきました。（長内）

フォトレポート　　トヨタ自動車 EX 会 モノづくり@エコット 2017

８月６日（日）、毎年恒例、EX 会のイベントが eco-T で開催されました。参加者は 468 名（役員含む）。

屋外では、元町工場で生産している高級車「LC500」が展示され、参加者の目を引き付けていました。竹ぽっくり作りも人気で、苦労しながら竹をのこぎりで切っている姿が印象的でした。

また２階では、チューブプレーンという紙飛行機の様に飛んでいくおもちゃづくりのブースがありました。小さい輪にクリップをつけた方を前に向けてゆっくりなげると上手に飛んでいくそうですが、子どもたちは何回も工夫しながら飛ばして遊んでいました。

インタープリターによる渡刈クリーンセンターの見学も行いました。４ 年生の時に見に来たけれど、７ 階にあがったのは初めてという６年生や、市外からの家族連れもいました。ごみピットの中をのぞいて、ごみの量の多さにびっくりしていました。

１階では、AR 技術を使ったブース「飛び出すぬり絵！」を見てびっくり！子どもが色を塗った車の絵に、予め専用の AR アプリをインストールした携帯でカメラを向けると、画面上で車が走り出すのです。途中でその静止画も保存できます。自分で色を塗った車が画面で走るって面白いなと思いました。

ブース展開の仕方や人員配置、看板作りなど、様々な点で参考になりました。また来年も開催できることを期待しています。（長内）

eco-T 目玉イベント情報

エコットフォーラム2017 ～プラスチックごみと私たちのくらし～

講演会

その１「インドネシア（ロンボク島）におけるプラスチックごみの問題と地元住民との取り組み」
山本 かおりさん（NPO 法人ゆいツール開発工房（ラボ）代表）

その２「ごみと私たちの生活　～生活ごみを半分に！～」
五明 玲子さん（環境カウンセラー，一般社団法人 Will &Weel 代表）

ワークショップ

その1　インドネシアのごみを分別してみよう&
グループワーク「海のプラスチックごみを減らすために」
進行：山本 かおりさん

その２　ごみを減らすには？　進行：五明 玲子さん

山本かおりさん

五明玲子さん

日　時：12 月3日（日）13：30 ～ 16：30（13：00 開場）
場　所：豊田市環境学習施設 eco-T（エコット）
定　員：100 名（要申込）
申込み：10 月 15 日（日）10 時から eco-T 事務局（TEL：26-8058）まで

みんな見てる？とよたのエコなくらし　hibico　～part2～

hibico（ひびこ）とは、日々子育て。
とよた市民の子育てにまつわる環境にやさしい暮らしの工夫（エコ行動）を発信するホームページです。
（http://toyota-hibico.com）

エコ人としては、記者の育成、HP の運営管理をし、毎月１５日に記事の更新をしています。

豊田市内には１６カ所の「子育て支援センター」があります。今回は、その中のひとつ「柳川瀬（やながわせ）子どもつどいの広場“にこにこ”」を紹介しました。ここは他とは違う特徴が２つ。①市民団体「キッズプランナー」と市が共働で運営していること、②小学生も利用できることです。

自分の経験から、家の中で、親子２人で悩むようなことがあれば利用してほしい施設だそうです。また、こども園と違って、必ず行かなくてはいけない場所ではないです。
キッズプランナーさんのこだわりが詰まった『地域で子育てできる居場所』ですよ。（赤坂）

Kids Planner キッズプランナー

hibico ホームページ

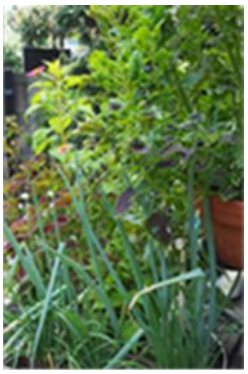
人物紹介リレー　　岡田（おかだ）さえ子（こ）さん（伊東芳明さんからの紹介）

今回はインタープリター10 期生の岡田さえ子さんに登場していただきます。岡田さんは生まれも育ちも豊田。現在は朝日丘にお住まい。近くには美術館、七州城、文化会館、小学校、子ども園等静かな環境に恵まれ羨ましい限りです。

10 月の挙母まつりの時には、近くに山車が３台集結するそうです。毎年その接待に忙しいとのことでしたが、お祭りは血わきおどるとよたっ子にとってはなくてはならない年中行事ですね。

●インタープリターになったきっかけは？

仕事を辞めてから豊田市高年大学文化工芸学科で１年間学びました。その後、生活健康学科にも参加。卒業後同窓会活動に参加していました。その仲間から eco-T インタープリターの話を聞き 10 期の育成講座を受けることになりました。



● インタープリターをしていて良かったと思うことは？

子どもたちと接することが楽しいです。私はまだ活動を始めて１年なので、出前授業のやり方を学ぶために学校へ一緒についていくだけなのですが、それでも子どもたちが顔を覚えていてくれて、eco-T に来た時に声をかけてくれました。そんなとき可愛いと思えるし、嬉しいですね。早く新人から脱皮して一人前になれるよう頑張りたいです。

●インタープリターの活動の中で気になることは？

まず工場見学対応ができるようになることです。そして出前授業もできるようになればと思います。でも焦らずひとつずつしっかり身につけていきたいです。そのためには研修にもたくさん出たいです。

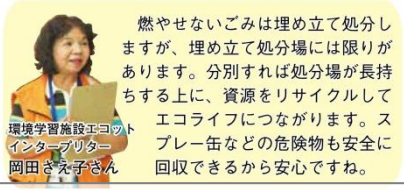
● インタープリターとして伝えたいことは？

ごみを出さない、そのためには分別を一人ひとりがしっかりとすることですね。１人で頑張っても変わらないです。でもみんなですればごみを減らせます。

●あなた自身エコな活動は何ですか？

インタープリターになってから意識することでごみを減らせるようになりました。また、調理時に必要な薬味は鉢の寄せ植えをしておいて、欲しい時に欲しい分だけ摘んで使うようにしています。先日エコットクッキングでもそのことを紹介させていただきました。玄関先に観賞用として飾っています。薬味用だけでは淋しいので、オクラなど花のきれいな野菜も添えると立派な寄せ植えになります。一挙両得ですね。

岡田さんにお会いした印象はとても前向きな方で勉強熱心な印象でした。ご主人も高年大学を卒業され同窓会活動が忙しく、それぞれの活動を大切にしながら人生を楽しんでいらっしゃいます。見学対応にも次はどうしようかと考え取り組んでいるとのこと。私も岡田さんから刺激を受けました。



広報とよた 9/1 号に岡田さんが登場

次回は岡田さんの中学校の同級生、田中利江子さんです。お楽しみに！（インタビュアー　守随）

エコ人からのお知らせ

スタッフに聞いた！
私のエコ行動！

■浦松恵美子（うらまつえみこ）さん

浦松さんは、パートスタッフとしてさまざまな業務のサポートをされています。

今回はそんな浦松さんが行っているエコ行動について聞いてみました。

私のエコ活動は「生ごみひとしぼり」です。流し台のごみ受けに入っている生ごみを「ギュッ」とひとしぼりしてから捨てるようにしています。「ごみも少なくて水も切れているな」と思っても「ギュッ」としぼると、たくさんの水が出て驚いてしまいます。生ごみの約 80%が水分なんだとか。生ごみをしぼることで、ごみの減量や悪臭防止、CO_2の削減につながるそうです。みなさんもぜひやってみてください。

新規会員募集中！

『楽しい＆エコ』なくらし、いっしょにはじめましょ♪

とよたエコ人プロジェクトの会員になりませんか？

〔会費〕

正会員	10,000 円（議決権あり）
賛助会員	一般　1000 円／口 学生　500 円／口 非営利団体　3000 円／口 営利団体　10000 円／口

＊エコ人の年度は６月～５月です。

〔会員特典〕

- 季刊誌「えこびと」を年４回お届けします。
- 会員メーリングリストに登録できます。講座やイベント、世の中のエコ情報が届きます（不定期）。
- 講座やイベントに会員特典（参加費の割引など）を受けられることがあります。
- e-cafe のコーヒーチケット３枚プレゼント！フェアトレードのコーヒーを飲みながらお話しましょう。

毎週木曜日に eco-T で開催しています。

＊入会をご希望の方は下記連絡先まで！

編集後記

eco-T のリユースフェスタや、愛フェス 2017 などこの数カ月はイベントが盛りだくさんでした。みなさまお疲れ様でした。

現在、とよたエコ人プロジェクトとしては共働事業提案に向けて準備中です。来年もいろいろな活動ができそうですね。（住田）

発行・編集　NPO 法人 とよたエコ人（びと）プロジェクト

〒471-0025　愛知県豊田市西町 1-88 カニックビル５階

メール：info@t-ecobito.jp

当法人ホームページ：http://t-ecobito.jp/

eco-T ホームページ：http://www.eco-toyota.com/

当法人ホームページ　eco-T ホームページ